

2022年12月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) 上場取引所 東証グロース (外国株)
 コード番号 6697 URL https://www.techpoint.co.jp
 代表者名 (役職名) 最高経営責任者兼取締役社長 (氏名) 小里 文宏
 問合せ先責任者 (役職名) 株式会社テックポイントジャパン 代表取締役社長 (氏名) 近藤 浩 (TEL: 03-6205-8405)
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料の作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(単位: 千米ドル (千円)、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益		株式報酬費用控除前の 四半期純利益 (Non-GAAP 指標) (注3)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
2022年12月期 第3四半期	48,585 (7,035,594)	2.9%	14,098 (2,041,531)	△3.5%	14,069 (2,037,332)	△3.9%	12,634 (1,829,530)	△0.8%	13,900 (2,012,859)	0.1%
2021年12月期 第3四半期	47,233 (6,839,811)	126.8%	14,607 (2,115,240)	-	14,640 (2,120,018)	-	12,735 (1,844,155)	-	13,881 (2,010,108)	981.1%

(注1) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2022年9月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買取相場の仲値に基づき1米ドル144.81円で換算された金額であります。本開示資料において以下同じ。

(注2) 四半期包括利益は2022年12月期第3四半期12,494千米ドル(1,809,256千円)(△1.5%)、2021年12月期第3四半期12,690千米ドル(1,837,639千円)(-)。

(注3) 2022年12月期第3四半期の9か月間の株式報酬費用は1,410千米ドル(204,182千円)でした。これを除いた調整後営業利益は15,508千米ドル(2,245,713千円)、2022年9月30日に終了した9か月間における期間実効税率10.20%の税効果考慮後の調整後四半期純利益は13,900千米ドル(2,012,859千円)となります(Non-GAAP指標)。なお2022年12月期第3四半期においては、9か月間の株式報酬費用は1,317千米ドル(190,715千円)であり、これを除いた調整後営業利益は15,924千米ドル(2,305,954千円)、2021年9月30日に終了した9か月間における期間実効税率13.02%の税効果考慮後の四半期純利益は13,881千米ドル(2,010,108千円)でした(Non-GAAP指標)。

(単位: 米ドル (円))

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する四半 期純利益	希薄化後1株当たり当社 株主に 帰属する四半期純利益	基本的1株当たり当社株主 に帰属する株式報酬費用控 除前の四半期純利益 (Non- GAAP 指標)	希薄化後1株当たり当社 株主に帰属する株式報酬 費用控除前の四半期純利 益 (Non-GAAP 指標)
2022年12月期第3四半期	0.70 (101)	0.68 (98)	0.77 (112)	0.75 (109)
2021年12月期第3四半期	0.72 (104)	0.69 (100)	0.78 (113)	0.75 (109)

(2) 連結財政状態

(単位: %表示を除き、千米ドル (千円))

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
2022年12月期第3四半期	67,853 (9,825,793)	61,199 (8,862,227)	61,199 (8,862,227)	90.2%
2021年12月期	61,938 (8,969,242)	51,817 (7,503,620)	51,817 (7,503,620)	83.7%

2. 配当の状況

(単位：米ドル(円))

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期	0.25 (注1)	0.25 (注2)	—		
2022年12月期(予想)				—	0.50

(注1) 2022年1月31日を基準日とする、1回目の剰余金の配当(第1四半期中の剰余金の配当)に係る普通株式保有者への米ドル建て配当金及びJDR受益者への円建て分配金の支払いは、第1四半期中に完了しています。JDR受益者への円建て分配金単価：適用米国所得税率により異なります。28円(税率0%)、25円(税率10%)、24円(税率15%)、20円(税率30%)

(注2) 2022年6月30日を基準日とする、2回目の剰余金の配当(第2四半期中の剰余金の配当)に係る普通株式保有者への米ドル建て配当金及びJDR受益者への円建て分配金の支払いは、第3四半期中に完了しています。JDR受益者への円建て分配金単価：適用米国所得税率により異なります。34円(税率0%)、30円(税率10%)、29円(税率15%)、24円(税率30%)

(注3) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位：千米ドル(千円)、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		【参考値】株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
通期(2022年)予想	71,469	10.5%	19,882	△0.0%	19,922	0.0%	17,133	△0.9%	19,313	2.2%
	(10,349,426)		(2,879,112)		(2,884,905)		(2,481,030)		(2,796,716)	

	基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	【参考値】基本的1株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)	【参考値】希薄化後1株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)
	通期(2022年)予想	0.94ドル (136円)	0.89ドル (129円)	1.06ドル (153円)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	18,161,529株	2021年12月期	17,928,748株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	—株	2021年12月期	—株
③ 期中加重平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	18,081,235株	2021年12月期3Q	17,800,721株

※ 本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に含まれる業績予想及びその他の将来予測に関する記述は、現在入手可能であり、かつ当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により著しく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用.....	6
(3) 会計方針の変更.....	6
3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報	7
(1) 四半期連結貸借対照表.....	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

2022年9月30日に終了した9か月間及び2021年9月30日に終了した9か月間の比較は以下のとおりです。

売上高

	9月30日終了の9か月		増減	
	2022年	2021年	金額	%
			(単位：千米ドル(千円))	
売上高 (車載カメラ)	27,807	22,773	5,034	22%
売上高 (監視カメラ)	20,778	24,460	△ 3,682	△15%
売上高	48,585	47,233	1,352	3%
	(7,035,594)	(6,839,811)	(195,783)	

2022年9月30日に終了した9か月間の売上高は、前年同期と比較して1.4百万米ドル又は3%増加しました。これは主に、出荷数の増加及び製品構成の変化による平均売価の増加に起因する、車載カメラシステム市場向け半導体製品の売上高の、5.0百万米ドルの増加が、出荷数の減少が製品構成の変化による平均売価の増加に部分的に相殺されたことに起因する、監視カメラシステム市場向け半導体製品の売上高の、3.7百万米ドルの減少によって相殺されたものです。

当社の製品価格は、製品製造費用の上昇に伴い、両市場において上昇しています。加えて、当社平均販売価格の動きは製品構成の変化によるもので、これは当社の製品構成及び顧客基盤が様々な価格帯にわたっているからです。高い価格帯の製品の販売数が増加すると、低い価格帯の製品の販売数が増加する場合に比べて、平均販売価格が増加します。出荷台数の減少は、主に2022年第2四半期に、顧客による製品在庫の積み増しがあったことを反映しています。

売上原価

	9月30日終了の9か月		増減	
	2022年	2021年	金額	%
			(単位：千米ドル(千円))	
売上原価	21,414	21,524	△ 110	△1%
	(3,100,961)	(3,116,890)	(△15,929)	

2022年9月30日に終了した9か月間の売上原価は、出荷数の減少によって、前年同期と比較して0.1百万米ドル減少しました。製品構成及び市場構成の変化は、売上総利益率にプラスの影響を及ぼしました。

研究開発費

	9月30日終了の9か月		増減	
	2022年	2021年	金額	%
			(単位：千米ドル(千円))	
研究開発費	6,230	4,700	1,530	33%
	(902,166)	(680,607)	(221,559)	

2022年9月30日に終了した9か月間の研究開発費は、前年同期と比較して、1.5百万米ドル又は33%増加しました。これは主に、2022年上半期におけるテーブルアウト費用及び外部デザイン費用の1.6百万米ドルの増加によるものです。

販売費及び一般管理費

	9月30日終了の9か月		増減	
	2022年	2021年	金額	%
			(単位：千米ドル(千円))	
販売費及び一般管理費	6,843	6,402	441	7%
	(990,936)	(927,074)	(63,861)	

テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) (6697) 2022年12月期第3四半期決算短信

2022年9月30日に終了した9か月間の販売費及び一般管理費は、前年同期と比較して、0.4百万米ドル又は7%増加しました。これは主に、人事関連費用の0.5百万米ドルの増加が、専門家費用の0.2百万米ドルの減少によって相殺されたことによるものです。

その他の収益

	9月30日終了の9か月		増減	
	2022年	2021年	金額	%
			(単位：千米ドル(千円))	
その他の収益 (純額)	△29 (△4,199)	33 (4,778)	△62 (△8,978)	△188%

2022年9月30日に終了した9か月間のその他の収益(純額)は、前年同期と比較して62千米ドル減少しました。これは主に、外国為替取引及び外国為替差損の増加が、金利収入の増加によって相殺されたものです。

法人税等

	9月30日終了の9か月		増減	
	2022年	2021年	金額	%
			(単位：千米ドル(千円))	
法人税等	1,435 (207,802)	1,905 (275,863)	△470 (△68,061)	△25%

2022年9月30日に終了した9か月間の法人税費用は、前年同期と比較して0.5百万米ドル又は25%減少しました。これは主に、米国外における無形資産所得控除の増加、及び研究開発費の税務上の損金算入の繰延べによるものです。

四半期純利益

	9月30日終了の9か月		増減	
	2022年	2021年	金額	%
			(単位：千米ドル(千円))	
四半期純利益	12,634 (1,829,530)	12,735 (1,844,155)	△101 (△14,626)	△1%

前述の結果、2022年9月30日に終了した9か月間の当社グループの四半期純利益は12.6百万米ドル、前年同期の四半期純利益は12.7百万米ドルでした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

2022年9月30日現在及び2021年12月31日現在の比較は以下のとおりです。円貨換算額については、貸借対照表をご参照下さい。

資産

流動資産

2022年9月30日現在の流動資産は59.7百万米ドルであり、2021年12月31日に対して2.7百万米ドル又は5%の増加となりました。これは主に、現金及び現金同等物の5.3百万米ドルの増加及び棚卸資産の1.0百万米ドルの増加が、短期投資の3.0百万米ドルの減少により一部相殺されたものです。

非流動資産

2022年9月30日現在の非流動資産は総額8.1百万米ドルであり、2021年12月31日と比較して3.3百万米ドル又は67%の増加となりました。これは主に、その他の資産に含まれる長期投資の2.0百万米ドルの増加及び繰延税金資産の1.3百万米ドルの増加によるものです。

負債及び株主資本

流動負債

2022 年 9 月 30 日現在の流動負債は総額 6.1 百万米ドルであり、2021 年 12 月 31 日に対して 3.5 百万米ドル又は 36%の減少となりました。これは主に、未払配当金の 4.5 百万米ドルの減少が、未払費用及び顧客預り金の 1.0 百万米ドルの増加によって一部相殺されたものです。

非流動負債

2022 年 9 月 30 日現在の非流動負債は総額 0.6 百万米ドルであり、2021 年 12 月 31 日に対して大きな変動はありませんでした。

株主資本

2022 年 9 月 30 日現在の株主資本は総額 61.2 百万米ドルであり、2021 年 12 月 31 日に対して 9.4 百万米ドル又は 18%の増加となりました。これは主に、純利益の 12.6 百万米ドルの計上が、4.5 百万米ドルの配当金支払によって相殺されたことによる利益剰余金の増加、株式報酬であるストック・ユニットやストック・オプションの権利確定及び行使による資本剰余金の 1.4 百万米ドルの増加、及びその他の包括利益累計額の 0.1 百万米ドルの減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2022 年第 3 四半期の 3 か月間において、車載カメラシステム市場向け売上は 8.7 百万米ドルであり、前年同期と比較して、5%の増加となり、監視カメラ市場向け売上は 6.8 百万米ドルであり、前年同期と比較して、23%の減少となりました。2022 年 9 月 30 日に終了した 9 か月間においては、車載カメラシステム市場向け売上は 27.8 百万米ドルであり、前年同期と比較して、22%の増加となり、監視カメラ市場向け売上は 20.8 百万米ドルであり、前年同期と比較して、15%の減少となりました。売上総利益率は、2022 年第 3 四半期の 3 か月間において、前年同期の 54%と比較して若干増加し、55%となりました。また、2022 年 9 月 30 日に終了した 9 か月間においては、前年同期の 54%から 2 ポイント増加して 56%となりました。これは、製品構成及び市場構成の変化によるものです。上海のロックダウンに伴って、サプライチェーンでの製造が円滑に進まなかった状況は、2022 年第 3 四半期においては緩和されました。

当社は、顧客先での在庫調整に起因して、第 4 四半期においても、半導体製品に対する需要の減速に直面しています。この需要の減速が 2023 年上半期まで続き、当社の 2022 年年初の通期売上予想にマイナス影響を与える可能性があります。しかしながら、当社の半導体が新規に採用されている複数の完成品案件が量産移行するため、この影響は軽減されると予想されます。結果として、第 4 四半期の売上は第 3 四半期の売上を上回り、当社の通期売上予想に対するマイナス影響は数パーセントにとどまり、通期純利益予想に対する影響がある場合でも、それはごく僅かにとどまると考えています。この需要の減少は主に顧客の棚卸資産調整、他社半導体製品の供給不足、及び世界的なインフレ圧力によるものであり、当社が重要な事業機会を逸したのではないと確信しています。

一方で、当社は第 4 四半期においても、新製品である CMOS イメージセンサー用及びドアフォン用半導体のサンプル出荷を継続しており、2023 年に量産移行が始まる予定です。世界的な経済の減速に伴って、世界的需要が減少し、当社の新製品に割り当てられる生産枠が増加します。これは、当社の新製品である CMOS イメージセンサー及び他の新製品用の来期の生産枠の確保に寄与すると予想しています。

なお、新型コロナウイルス感染症につき今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当社は、新型コロナウイルス感染症につき現時点と同程度の影響が 2022 年度中は継続するとの仮定のもと、予想数値を計算しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：株式数を除き、千米ドル、千円 未監査)

	2022年9月30日現在		2021年12月31日現在	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
資産				
流動資産：				
現金及び現金同等物	32,674	4,731,522	27,379	3,964,753
短期投資	11,912	1,724,977	14,942	2,163,751
売掛金	95	13,757	336	48,656
棚卸資産	14,487	2,097,862	13,522	1,958,121
前払費用及びその他の流動資産	558	80,804	895	129,605
流動資産合計	59,726	8,648,922	57,074	8,264,886
有形固定資産 (純額)	576	83,411	713	103,250
繰延税金資産	1,855	268,623	584	84,569
使用権資産	1,158	167,690	1,009	146,113
その他の資産	4,538	657,147	2,558	370,424
資産合計	67,853	9,825,793	61,938	8,969,242
負債及び株主資本				
流動負債：				
買掛金	1,705	246,901	1,838	266,161
未払費用	2,630	380,850	1,896	274,560
顧客預り金	1,056	152,919	775	112,228
リース負債	681	98,616	525	76,025
未払配当金	—	—	4,504	652,224
流動負債合計	6,072	879,286	9,538	1,381,198
その他の長期負債	582	84,280	583	84,424
負債合計	6,654	963,566	10,121	1,465,622
コミットメント及び偶発債務				
株主資本：				
優先株式、額面価格0.0001米ドル (0.01円)				
授権株式数、2022年9月30日及び2021年12月31日現在、それぞれ5,000,000株及び5,000,000株				
発行済株式数、2022年9月30日及び2021年12月31日現在、それぞれ0株及び0株	—	—	—	—
普通株式、額面価格0.0001米ドル (0.01円)				
授権株式数、2022年9月30日及び2021年12月31日現在、それぞれ75,000,000株及び75,000,000株				
発行済株式数、2022年9月30日及び2021年12月31日現在、それぞれ18,161,529株及び17,928,748株	2	290	2	290
資本剰余金	25,666	3,716,693	24,251	3,511,787
その他の包括利益累計額	△166	△24,039	△26	△3,765
利益剰余金	35,697	5,169,283	27,590	3,995,308
株主資本合計	61,199	8,862,227	51,817	7,503,620
負債及び株主資本合計	67,853	9,825,793	61,938	8,969,242

テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) (6697) 2022 年 12 月期第 3 四半期決算短信

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：株式数及び1株当たり金額を除き、千米ドル、千円 未監査)

	9月30日に終了の9か月			
	2022年		2021年	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
売上高	48,585	7,035,594	47,233	6,839,811
売上原価	21,414	3,100,961	21,524	3,116,890
売上総利益	27,171	3,934,633	25,709	3,722,921
営業費用				
研究開発費	6,230	902,166	4,700	680,607
販売費及び一般管理費	6,843	990,936	6,402	927,074
営業費用合計	13,073	1,893,102	11,102	1,607,681
営業利益	14,098	2,041,531	14,607	2,115,240
その他の収益(費用) — 純額	△29	△4,199	33	4,778
税引前四半期純利益	14,069	2,037,332	14,640	2,120,018
法人税等	1,435	207,802	1,905	275,863
四半期純利益	12,634	1,829,530	12,735	1,844,155
1株当たり四半期純利益 (米ドル(円))				
基本的	0.70	101	0.72	104
希薄化後	0.68	98	0.69	100
1株当たり四半期純利益 を計算する際の加重平均株式数				
基本的	18,081,235		17,800,721	
希薄化後	18,555,119		18,574,702	
包括利益：				
四半期純利益	12,634	1,829,530	12,735	1,844,155
その他の包括利益				
売却可能負債性証券に係る税効果調整後未実現損失 2022年9 月30日は37千米ドル、2021年9月30日は12千米ドル	△140	△20,274	△45	△6,516
四半期包括利益	12,494	1,809,256	12,690	1,837,639

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。